

8106 価格が上昇すれば需要は減少する。

価格が上昇すれば需要は減少する。需要が減少すれば価格は下落する。たいていの経済学教科書には、そういうふうを書いてある。しかし、需要が減少するのは、上昇の後で必ず反転し、近い将来において価格が下落すると予想するからであり、その予想にしたがって人々が買い控えるからである。もしもそう予想せず、将来に向かって価格は上昇するだけだと考えたら、人々はかえって買い漁りに向い、需要は増加するだろう。

伊賀隆：フリードマンの思想

[許容訳例]

When prices rise, demand decreases: when demand decreases prices fall: so one reads in most textbooks of economics. However, the decrease in demand is caused by the supposition that the rising prices will be followed by an inevitable decline in the near future, and by a reluctance to buy deriving from this assumption. If people did not expect this and assumed simply that prices, they would hunt for things to buy, thus causing an increase in demand.

[翻訳例]

When prices rise, demand decreases. If demand decreases prices fall. That, at least, is what it says in most textbooks of economics. However, the reason for the decrease in demand is that people assume that following the rise in prices there will be an inevitable turn-about leading to fall in the near future, an assumption which makes them reluctant to buy. If they did not have this expectation but thought that prices would go on rising in the future, they would, on the contrary, set about buying all they could, and demand would increase.

■価格が上昇すれば需要は減少する。(8106)

★「価格」は、ここでは無冠詞複数 prices (いろいろなものの価格) です。辞書には cost も出ていますが、これは「コスト」、つまり、ものを作り出すのにかかった費用のことです。ここでは使えません。

★「上昇する」は rise です。

●「・・・すれば」は if でも when でもよいのですが、人々が直接身近に感じる客観的相関関係を表すとするとき when でしょう。

★「需要」は demand です。

★「減少する」は decrease が一番いいでしょう。他に drop も使えます。reduce は be reduced とすれば使えますが、強いてこれを使う必要はありません。

■需要が減少すれば価格は下落する。(8106)

★「下落する」は fall が一番素直でいいです。辞書には fall off もあげていますが、これにはちょっと特殊なニュアンスがあります。たとえば、熱心だった人が醒めてしまうとか、上昇しつつあったものが下火になるとか。ですから prices fall はあくまでも事実を言っているのに対して prices fall off と言うと、「いつまでも上昇すると思っていた [期待していた] の

に落ちてしまう」という感じになります。それから decline は fall off に近い感じです。他に使えるのは come[go] down です。使い方は come down の方が主観的で「そうなることをちょうど望んでいた」という感じになります。go down は客観的な事実として述べる感じです。

■たいていの経済学教科書には、そういうふうに書いてある。(8106)

★「たいていの経済学教科書に」なら in most textbooks of economics ですが、ここは「・・・には」です。これを使った背景には「少なくとも」とか「最低」という意識が感じられますので at least を加えるといいと思います。概して「には」とか「では」の「は」の感じを出すためには at least を使っていい場面がかなりあります。それから、in most of・・・は「何冊かあるものの大部分に」という意味になりますので、ここでは使えません。

★「そういうふうに書いてある」はいろいろな書き方ができます。So one reads in・・・とか One can find this statement in・・・; That, at least, is what it says in・・・; It says in・・・とか。なお、全文の内容を先行詞とすることのできる which を使って書くことも出来ます。When prices rise, demand decrease. if demand decrease, prices fall--which, at least, is what it says in・・・のように。

■しかし、需要が減少するのは、上昇の後で必ず反転し、近い将来において価格が下落すると予想するからであり、その予想にしたがって人々が買い控えるからである。(8106)

★「しかし、・・・」ですが、but のすぐ後ろにコンマを打つ But,・・・という使い方はしません。However,・・・です。

★「需要が減少するのは」は the decrease in demand です。decrease には名詞があるので、「減少するのは」という動詞止めに合わせるために動名詞を使って decreasing in demand とする必要はありません。またこの「・・・のは」は後方の「・・・からであり」と考え合わせると「需要が減少する理由は」ということなので the reason for the decrease in demand とすることも出来ます。

★「上昇」は「価格の上昇」のことですから、the rise in prices ですが、「上昇する価格」(he rising prices)でも伝えることは出来ます。

★「後で必ず反転し」は「A の後に B が起きる」と言うことですから B follows A、あるいは passive voice にして A is followed by B という表現を使うことができます。

★「必ず」は inevitably; certainly などを文修飾的に用いて B inevitably follows A; A is inevitably followed by B ですが、形容詞にして「反転」とか「下落」に懸けるのも英語的です。

★「反転」は turn-about です。Turn-over は「転倒；回転」などで、ここでは使えません。

★「近い将来において」は「近い将来に」(in the near future)です。

★「価格が下落する」は prices fall ですが、follow とか be followed by を使う関係で、上の「価格の上昇」に合わせて「価格の必然の下落」(the[an] inevitable[certain] decline)とか「価格の必然の反転下落」(the[an] inevitable[certain] turn-about leading to fall)と処理するのが

いいと思われます。

★「と予想するからであり、・・・」は、前の「需要が減少するのは」を「需要が減少する理由は」(the reason for the decrease in demand)とした場合は is that people assume that… となり、「需要が減少するのは」を the decrease in demand にした場合は is caused by the assumption that…です。辞書で「予想」を引くと expectation; anticipation とか「予測」として forecast; prospect; supposition が出ています。それぞれニュアンスは異なりますが、どれも使えます。ただ「当然そうなるだろう」という意味を表す assumption が、ここでは適当ではないかと思われます。

★「その予想にしたがって」は on the basis of the assumption[supposition]か、あるいは derive from the assumption[supposition]とか、新聞などでよく用いられる stem from the assumption[supposition] を分詞にして使うとかでしょう。According to…は「その予想によると」という意味になってしまっていて、ここでは使えません。

★「買い控える」は refrain from buying; hesitate to buy などが考えられます。keep from buying も間違いではありませんが、keep from というのは非常に具体的です。他には be reluctant to buy, 名詞にして a reluctance to buy など利用できます。

★「買い控える[から]である」は、前の「需要が減少するのは」を the decrease in demand にした場合は is caused by the assumption that…and by a reluctance to buy…とすれば意味は通じます。「需要が減少するのは」を「需要が減少する理由は」と解して the reason for the decrease in demand とした場合には is that people assume that…となります。

■もしもそう予想せず、将来に向かって価格は上昇するだけだと考えたら、人々のかえって買い漁りに向い、需要は増加するだろう。(8106)

★「もしもそう予想せ[ず](・・・と考えた)[ら]」は、すぐ前で「需要が減少するのは、上昇の後で必ず反転し、近い将来において価格が下落するからだ」と断言しているのですから、「仮定法過去」(現在の事実に対抗の事実を想像して述べる)で、If people did not expect this and…とか If they did not have this expectation but…としなければなりません。ここを If people do not expect this and…; If they do not have this expectation but…とすると、「現在・未来に関する不確実な事実を想像して述べる」(条件文・仮定法現在)」となり、二つの意味で使うことになります。一つは、「一般的な考えとしてかりにそう予想しない場合」か、もう一つは、「すでにそうではないということがわかっている場合の可能性」です。

★「将来に向かって」は「将来において」と同じで in the future です。

★価格は上昇するだけだ(と考えたら)の「だけ」は「上昇する」に付いているのではなく「価格は上昇する」という概念に付いているので assumed[thought] simply that prices would rise です。なお、simply を使わずに thought that prices would go on rising in the future (変わらずに上昇し続ける)で表すこともできます。

★「かえって」は on the contrary がいいと思います。

★「人々は買い漁りに向う」のところは「人々は買い漁る」ではなく「人々は買い漁りに向

かう」ですから set about buying…とします. set about は「今まではこうしていたんだけど今度は思い切ってこうすることに切り替える」という感じが含まれています. なお, 辞書を見ると, 「買い漁る」には hunt for が出ています. これを使うなら目的語が必要なので hunt for things to buy でしょう. また go round shopping も出ていますが, これは実際に買い物カゴをぶら下げて買い回るイメージです. 比喩的に使うことも出来るかもしれませんが, 非常に具体的です.

★「需要は増加するだろう」は thus causing an increase in demand とか and demand would increase とかでしよう.